令和８年度　第４回倫理委員会議事録

１．日　時　　令和８年７月 24 日（金）

開会：14 時 30 分　　閉会：15 時 50 分

２．場　所　　10 階大会議室(中央)

３．出席者　　①委員（医学・医療の専門家、自然科学の有識者）

学内委員：　守屋文夫（委員長)、小野敦（副委員長)、山本健一郎（副委員長）

石田実知子、吉村洋輔、福意武史、時田春樹、河本けい、伊禮功、

竹井泰孝、小川武人、石本恭子、小玉京士朗、國安勝司

学外委員：林千加子

②委員（倫理学・法律学の専門家等、人文・社会科学の有識者）

学内委員：岡本宣雄、瀧川真也、渡辺裕一、田中伸代、青木陸祐

③委員（一般の立場の者）

学外委員：難波哲子

以上 21 名、内 学外委員２名

委任者　中川智之、松本義信、本野勝己、望月精一、宮川健、森脇正

以上６名

４．議事の経過及び結果

守屋委員長が議長となり、21 名の出席、６名の委任により、倫理委員会規程第５条に定める定員数に達したので、開会する旨を宣した。審議要領及び結果は次のとおりである。

Ⅰ　議題

（１）倫理審査

【受付番号　26-023】

課題名：　認知課題時における呼吸変動性と認知機能の関係に及ぼす加齢の影響

議案の審議に先立ち、研究責任者から研究の概要、倫理的配慮と対策、研究の実施計画等について説明が行われた。次いで質疑応答及び指摘がなされ、審議の結果、指摘事項を修正することとされた。

＜審査結果＞

継続審査（簡便な審査）

＜指摘事項＞

以下の指摘を修正すること。

・研究計画書

研究分担者の研究分担内容を検討すること

・研究方法

資料番号を引用し記載すること

対象者の人数について検討を行い、人数の根拠を記載すること。また、高齢者を 60～84 歳にした根拠も記載すること

同意撤回の方法を記載すること

公民館等に募集案内を依頼する手順を記載すること

実験スケジュールに記載のアンケート等で得られる項目について、研究でどのように使用するか記載すること

測定項目に女性の対象者への対応及び測定方法について追記すること

解析方法について認知機能の高い群と低い群の基準を記載すること

非侵襲的に測定を具体的に記載すること

・対象者

対象人数を検討すること

・対象者の選定基準

選定基準に記載の①～③について、それぞれ基準理由を記載すること。また、選定基準外となった場合の対応について記載すること。

・対象者の負担

交通費の記載について検討すること

・予測されるリスク

P4 に記載の実験中止基準及び緊急時対応を追記すること

・対象者に健康被害が生じた場合の補償及び医療の提供

再度検討すること

・説明文書にてインフォームド・コンセントをとる記載をした項目

※⑯～㉒について、該当しない項目を記載すること

・個人情報等の取扱い

個人情報(b)に検査データを追記すること

・資料３－１

・6.研究へ参加することにより生じる負担、予想されるリスク及び利益

今までの研究実施の記載について削除し、リスクへの対応方法についても記載すること

・資料３－２

MMSE 等の略字について日本語で詳しく記載すること

・5.研究対象者として選定された理由

MMSE 検査を行い、基準値未満の場合は研究に参加できないことを記載すること

・6.研究へ参加することにより生じる負担、予想されるリスク及び利益

今までの研究実施の記載について削除し、リスクへの対応方法についても記載すること

・17.経済的負担及び謝礼

交通費を負担していただく記載を削除すること

・資料４

MMSE 検査を行い、基準値未満の場合の対応について記載すること

【受付番号　26-029】

課題名：　視覚的振り返りを通して就労準備段階の ASD 成人が学習スタイル理解を深める過程

議案の審議に先立ち、研究責任者から研究の概要、倫理的配慮と対策、研究の実施計画等について説明が行われた。次いで質疑応答及び指摘がなされ、審議の結果、指摘事項を修正することとされた。

＜審査結果＞

継続審査（簡便な審査）

＜指摘事項＞

以下の指摘を修正すること。

・倫理審査申請書

研究分担者の職を研究計画書と統一すること

・研究計画書

共同研究機関以外の、既存試料・情報の提供のみを行う機関

施設を記載し、施設長の同意を得ること。また、他機関との試料・情報の提供に関する事項（トレーサビリティの確保）に記載すること

・研究方法

視覚的振り返りに用いる映像のパターンを分かりやすく記載すること

・対象者に健康被害が生じた場合の補償及び医療の提供

資料 4 の内容と統一し、該当箇所にチェックを入れること

・1. 新たに試料・情報を取得して研究を実施する

チェックをいれ、該当なしのチェックを外すこと

・情報の利用

通常の医療で取得された、又は取得する予定の情報を用いるにもチェックすること

・研究費等でまかなう物品等

クオカードの支払方法、支払時期について記載すること

・資料２

・〈研究〉実施期間

半構造化インタビュー（1 回）を実施するを実施しますに文言を修正すること

【受付番号　26-030】

課題名：　自閉スペクトラム症の幼児に対する FITT プログラム（短縮版）の適用と効果

議案の審議に先立ち、研究責任者から研究の概要、倫理的配慮と対策、研究の実施計画等について説明が行われた。次いで質疑応答及び指摘がなされ、審議の結果、指摘事項を修正することとされた。

＜審査結果＞

継続審査（簡便な審査）

＜指摘事項＞

以下の指摘を修正すること。

・倫理審査申請書

申請者・研究責任者の職を研究計画書と統一すること

・研究計画書

研究分担者及び共同研究機関の研究責任者の役割を検討すること

・研究方法

研究協力者に本研究の資料等を渡したうえで、対象となる親子を紹介いただくこと

研究スケジュールを詳細に記載すること

2.調査の内容にFITT-S研修が目的であり、養成が目的ではないことを記載すること

2.調査の内容に記載のフィデリティチェックの日本語表記を記載すること

3.調査の実施の手続きに記載のGoogleフォームを資料として添付すること

3.調査の実施の手続きの対象者募集に研究協力者からどのように家族の推薦の連絡を受けるかを追記すること

・予測されるリスク

健康被害がおこるリスク及び医療機関への受診について追記すること

・1.新たに試料・情報を取得して研究を実施

対象者からI.C.を得る、介入を伴う、文書にて説明し、文書にて同意のチェックを外すこと

・対象者への謝礼提供

クオカードの記載を、2回目のデータが取れなければ1回分のみを支払うことを記載すること。また、交通費を加味しクオカードの金額を検討すること

・資料２

・6.研究へ参加することにより生じる負担、予測されるリスク及び利益

健康被害がおこるリスクについて追記すること。また、研修、マニュアル及びフィードバックがあることを追記すること

・資料２・４

・12.試料・情報の保護及び廃棄の方法

HDDについてもどのように対応するか記載すること

【受付番号　26-034】

課題名：　アーティスティックスイミング（AS)が間質液中のグルコース値に及ぼす影響

議案の審議に先立ち、研究責任者から研究の概要、倫理的配慮と対策、研究の実施計画等について説明が行われた。次いで質疑応答及び指摘がなされ、審議の結果、指摘事項を修正することとされた。

＜審査結果＞

継続審査（簡便な審査）

＜指摘事項＞

以下の指摘を修正すること。

・研究計画書

・研究方法

対象者に記載のゼミメーリングリストでの募集について検討を行うこと

【実験当日】に記載の前日の夕食以降の水分摂取について、水のみ可と記載し、指定した朝食に記載の名称を修正すること。また、昼食・夕食について完全に統一という標記を修正すること

Libre の装着で針を刺し、測定期間（1 週間）中は継続することを記載し、軽微な侵襲があることがわかるように追記すること

・対象者の選定基準

基準理由に年齢を追記すること

・募集方法

その他の記載事項を確認すること

・予測されるリスク

対策に、筋肉痛になった場合の対策についても記載すること

・説明文書にてインフォームド・コンセントをとる記載をした項目

※⑯～㉒について、該当しない項目を記載すること

・個人情報の取扱い

メールアドレスを個人情報(b)の具体的な内容に追記すること

・資料１

Libre の装着で針を刺し、測定期間（1 週間）中は継続することを記載し、軽微な侵襲があることがわかるように追記すること

・資料２

・6. 研究へ参加することにより生じる負担、予想されるリスク及び利益

リスクへの対応について記載すること

・21. 将来の研究のために用いる可能性、他の研究機関に提供する可能性

提供する可能性がないことを記載すること

・資料 3

・21.将来の研究のために用いる可能性、他の研機関に提供する可能性

情報の利用について削除すること

・資料 4

・本研究への参加を撤回された場合でも～の一文を削除すること

Ⅱ 報告

(1)　新規申請通常審査結果について、次の２件が承認された旨報告された

1	26-004	医療技術学研究科	指導教員	田島　誠	ナッジを活用した健康教育-大学生の歩数と意識の変化-
2	26-012	臨床工学科	准教授	福原　真一	透析治療におけるバスキュラーアクセス穿刺作業負担の可視化

(2)　新規申請迅速審査結果について、次の 11 件が承認された旨報告された

1	26-005	臨床心理学専攻	指導教員	進藤　貴子	大学生が抱く高齢者イメージの検討--TAT と SD 法を用いた分析--
2	26-006	理学療法学科	准教授	松本　浩実	高齢者におけるフレイル、生活習慣と骨折発生の因果経路解明についての研究
3	26-010	医療コミュニケーション学科	助教	田中　裕子	医科大学の研究補助員および実験補助員の実務実態と医師の研究活動支援に関する研究
4	26-014	健康体育学科	教授	諏訪　英広	コミュニティ・スクールに対する保護者・地域の認知・参画に関するアンケート調査
5	26-016	臨床心理学科	講師	齊藤　由美	入院者訪問支援事業への精神保健福祉士の意識に関する調査
6	26-017	感覚矯正学専攻	指導教員	福永　真哉	介護施設入所高齢者の嚥下機能に関連する因子の多施設横断研究
7	26-018	医療福祉学専攻	指導教員	諏訪　利明	福祉サービス事業所のリーダーによる Structured TEACCHing の実装
8	26-019	臨床心理学専攻	指導教員	髙尾　堅司	自己愛が他者の援助行動に対する評価に及ぼす影響-偽善か否か-
9	26-020	臨床栄養学科	講師	瀬部　真由	管理栄養士養成課程大学生における在宅栄養支援教育の実践と教育効果の検討
10	26-021	臨床心理学科	教授	武井　祐子	養育スタイルの理想と現実のズレが心理的適応に及ぼす影響
11	26-022	臨床心理学科	教授	武井　祐子	大学生の愛着スタイルと養育者との関係及び育児に対する考え方との関連性

(3)　計画変更申請迅速審査結果について、次の１件が承認された旨報告された

1	26-010	医療コミュニケーション学科	助教	田中　裕子	医科大学の研究補助員および実験補助員の実務実態と医師の研究活動支援に関する研究

Ⅲ　その他

１．治験・倫理審査委員会委員研修について（資料）

守屋委員長から、治験・倫理審査委員会委員研修について資料をもとに説明され、希望者は申し込みを行い研修に参加するように依頼された。